

工賃向上計画（H30-H32(2020)）

記入日

H30.5.25

1 事業所の概要

フリガナ 法人名	シャカイフクシホウジン ホウコウカイ 社会福祉法人 方光会	フリガナ 法人代表者名	リジチョウ カトウ コウヤ 理事長 加藤 幸也
フリガナ 事業所名	ホクシュウリョウ 北萩寮	フリガナ 事業所代表者名	コスガ キミオ 小菅 公夫
住所	〒024-0082 岩手県 北上市町分1-363-48 TEL:0197-63-7278 Fax:0197-65-1991 Email:hoku@houkoukai.jp		
施設種別	就労支援継続B型事業所		
利用定員数 (H30.4.1現在)	34名	利用現員数 (H30.4.1現在)	40名
職員数 (H30.4.1現在)	19人（うち、職業指導員 11人、目標工賃達成指導員 2人）		
事業所の特徴	<p>当施設は、就労移行支援、就労継続支援B型を運営する多機能型事業所である。就労事業は主に製造販売事業、受注事業に取り組んでいる。製造事業は、納豆、菓子、南部せんべい製造販売に分かれ、それぞれ地元産の原料や季節感にこだわる等特徴ある商品開発を心掛けている。納豆は、北上産大豆を100%使用した「きたかみ納豆」を主力として北上市内外で販売活動をしている。特に北上市内ホテル、旅館等の朝食用として採用されていることもあり、観光、ビジネス等で宿泊される方々に食して頂いていることは製造する利用者の喜びになっている。菓子製造では、岩手県産米粉、小麦粉を原料とし、添加物を使用しない製法を採用したパン、シフォンケーキ、ラスク、ロールケーキ等を製造しており、地元の産直や企業訪問等で販売している。南部せんべいは、販売元の地元老舗「かぎや」を中心に納品している他、オリジナル商品「われせん」は食べきりサイズと手ごろな価格設定が好評でヒット商品となっている。受注事業は、地元企業からの作業受託を受け、主に段ボール製品の加工、組み立てを行っている。作業の種類、取引企業ともに開所当時と比較すると格段に増加しており、利用者個々の作業能力に応じた作業配置ができるようになってきた。また施設外就労先2社と契約を締結し、施設内ばかりではなく地域に働く場を広げ就労意欲の向上を目指している。</p> <p style="text-align: center;">製造事業、受注事業とも利用者、職員一体となり分業化をして作業に携わることにより物を作り上げる喜びを共有し、工賃向上を目指し取り組んでいる。</p>		

2 目標工賃

① 目標工賃の算出方法

月額	○
時間額	

目標工賃を算出方法として希望するものを、「月額」と「時間額」のどちらか一方のみ「○」を選択してください。

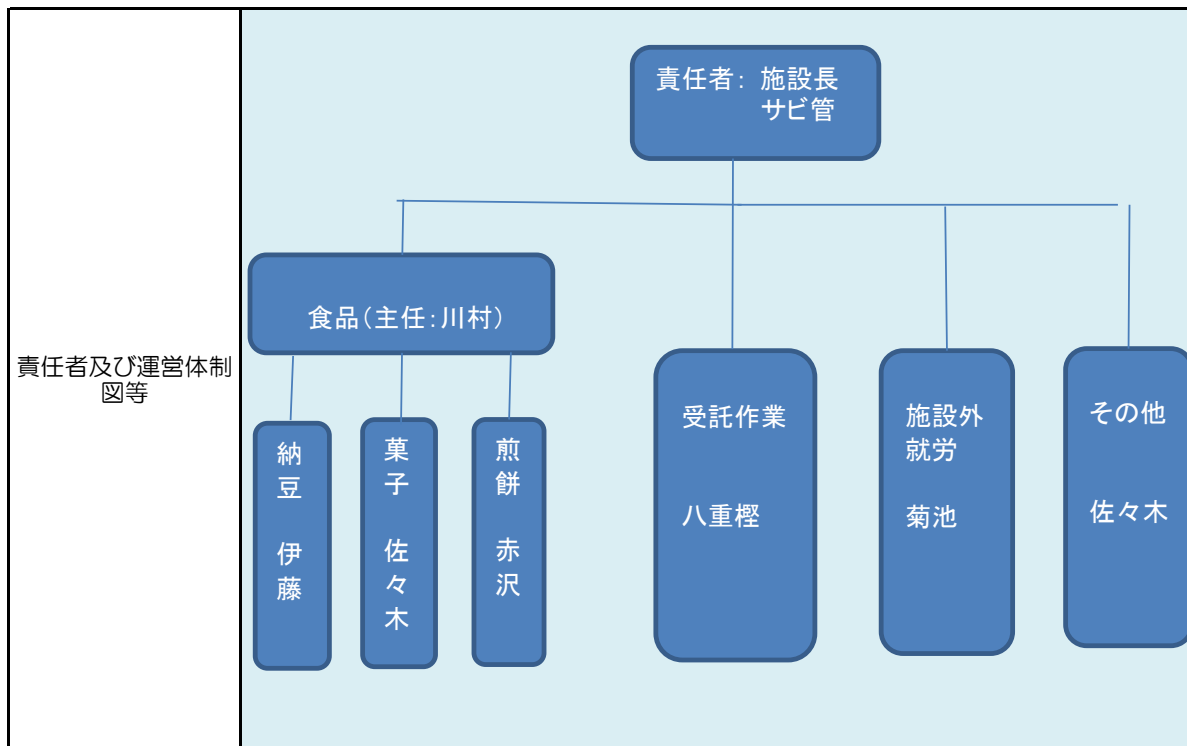
② 目標工賃額

	平均工賃（円）	
	月額	時間額
平成27年度(実績)	24,942	
平成28年度(実績)	24,971	
平成29年度(実績)	25,169	
平成30年度(目標)	25,673	
平成31年度(目標)	26,187	
平成32年度(目標)	26,711	

③ 目標工賃伸び率（H32年度目標額/H29年度実績額）

	目標工賃 伸び率	基準工賃 伸び率	目標工賃伸び率が基準工賃伸び率に届かない場合は、その具体的な理由を記載してください。
月額	6.1%	6.0%	
時間額	/	/	

④ 工賃向上計画の推進体制



3 既存事業の現状と評価

平成29年度実績合計	年間売上金額	29,214,160	利用人員数	40人	支払工賃総額	11,929,940
------------	--------	------------	-------	-----	--------	------------

4：とてもあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない

作業科目とその特徴	現状及び評価						事業の課題と方向性	目標工賃達成に向けて (拡大・現状維持・縮小・撤退)
	事業の収益性(平成29年度実績)		事業の将来性 (4段階評価)		事業の意義 (4段階評価)			
<作業名> 食品製造販売(納豆) <特徴> 北上産大豆100%使用「きたかみ納豆」を主力商品とし、岩手県内外で販売している。	年間売上金額(A)	7,105,997	①もつと販売・受注が見込める	3	④利用者の特性にマッチしている	4	(課題) 一年間に数回程度、品質についての苦情や問い合わせがありその都度苦慮している。 (方向性) 検査、検品の体制を確立し不具合商品の出荷を防ぐとともに、技術向上に努め良質商品の安定供給を目指す。	現状維持
	「原価」(B):①+②+③	3,616,153						
	①仕入:原材料費	3,378,978	②もつと生産量・受注量を増やせる	3	⑤利用者の職業能力の開発が見込める	2		
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費	237,175						
	「粗利益額」(C):A-B	3,489,844	③商品力・技術力が高い	3	⑥地域とのつながり・貢献性が高い	3		
	利用者人員(D)	8						
	一人あたり「粗利益額」(C/D)	436,231						
支払工賃額(E)	2,385,988							
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)	68%							
<作業名> 食品製造販売(菓子) <特徴> 北上産小麦使用の食パン、菓子パンを中心に製造しており、添加物未使用の製法を取り入れ、安心安全な商品作り心掛けています。	年間売上金額(A)	6,392,320	①もつと販売・受注が見込める	4	④利用者の特性にマッチしている	3	(課題) 原材料費の負担が大きく、収益率が悪い。販売先が少ないこともあり製造量を抑えがちになる。 (方向性) 製造技術向上を図り、廃棄物を削減する。販路開拓を進めるとともに新商品の開発に努め、売れる商品作りを目指す。	拡大
	「原価」(B):①+②+③	3,715,667						
	①仕入:原材料費	2,460,680	②もつと生産量・受注量を増やせる	4	⑤利用者の職業能力の開発が見込める	2		
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費	1,254,987						
	「粗利益額」(C):A-B	2,676,653	③商品力・技術力が高い	3	⑥地域とのつながり・貢献性が高い	4		
	利用者人員(D)	8						
	一人あたり「粗利益額」(C/D)	334,582						
支払工賃額(E)	2,385,988							
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)	89%							
<作業名> 食品製造販売(南部せんべい) <特徴> 北上市内でも数少ない南部せんべい製造元として老舗菓子舗「かぎや」に供給する等オリジナル商品も含め市内外で幅広く販売している。	年間売上金額(A)	8,758,075	①もつと販売・受注が見込める	3	④利用者の特性にマッチしている	3	(課題) 他社の商品と比較し種類が少ないことを指摘され、箱詰め商品の売り上げが落ちている。需要が極端になくなる時期がある。 (方向性) 新商品の開発をしたい。需要が少ない時期の販売策を検討していく。	拡大
	「原価」(B):①+②+③	4,592,317						
	①仕入:原材料費	3,690,257	②もつと生産量・受注量を増やせる	3	⑤利用者の職業能力の開発が見込める	2		
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費	902,060						
	「粗利益額」(C):A-B	4,165,758	③商品力・技術力が高い	3	⑥地域とのつながり・貢献性が高い	3		
	利用者人員(D)	8						
	一人あたり「粗利益額」(C/D)	520,720						
支払工賃額(E)	2,385,988							
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)	57%							
<作業名> 受注作業 <特徴> 北上市内企業から多種多様な作業を請け負い、利用者の適性に応じて作業配置している。	年間売上金額(A)	6,361,824	①もつと販売・受注が見込める	3	④利用者の特性にマッチしている	4	(課題) 発注先の都合で在庫スペースを多く取る必要があり、作業場所の確保が難しい。 (方向性) 施設に隣接する一般企業所有の作業場を賃貸契約を締結し確保する。	拡大
	「原価」(B):①+②+③	324,112						
	①仕入:原材料費		②もつと生産量・受注量を増やせる	3	⑤利用者の職業能力の開発が見込める	3		
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費	324,112						
	「粗利益額」(C):A-B	6,037,712	③商品力・技術力が高い	3	⑥地域とのつながり・貢献性が高い	2		
	利用者人員(D)	8						
	一人あたり「粗利益額」(C/D)	754,714						
支払工賃額(E)	2,385,988							
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)	40%							
<作業名> その他事業 <特徴> 取引施設、一般企業商品を仕入れ販売している。	年間売上金額(A)	1,057,891	①もつと販売・受注が見込める	2	④利用者の特性にマッチしている	3	(課題) 他施設からの仕入れ商品は、伸び悩んでいる。 (方向性) 仕入先と販売価格を相談する等相談しながら売上向上を目指す。	現状維持
	「原価」(B):①+②+③	889,570						
	①仕入:原材料費	846,829	②もつと生産量・受注量を増やせる	2	⑤利用者の職業能力の開発が見込める	2		
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費	42,741						
	「粗利益額」(C):A-B	168,321	③商品力・技術力が高い	2	⑥地域とのつながり・貢献性が高い	2		
	利用者人員(D)	8						
	一人あたり「粗利益額」(C/D)	21,040						
支払工賃額(E)	2,385,988							
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)	1418%							
<作業名> <特徴>	年間売上金額(A)		①もつと販売・受注が見込める		④利用者の特性にマッチしている		(課題) (方向性)	
	「原価」(B):①+②+③							
	①仕入:原材料費		②もつと生産量・受注量を増やせる		⑤利用者の職業能力の開発が見込める			
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費							
	「粗利益額」(C):A-B		③商品力・技術力が高い		⑥地域とのつながり・貢献性が高い			
	利用者人員(D)							
	一人あたり「粗利益額」(C/D)							
支払工賃額(E)								
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)								
<作業名> <特徴>	年間売上金額(A)		①もつと販売・受注が見込める		④利用者の特性にマッチしている		(課題) (方向性)	
	「原価」(B):①+②+③							
	①仕入:原材料費		②もつと生産量・受注量を増やせる		⑤利用者の職業能力の開発が見込める			
	②利用者以外の人件費							
	③その他経費							
	「粗利益額」(C):A-B		③商品力・技術力が高い		⑥地域とのつながり・貢献性が高い			
	利用者人員(D)							
	一人あたり「粗利益額」(C/D)							
支払工賃額(E)								
支払工賃額(E)÷粗利益額(C)								

4. 改善計画シート

具体的作業名	改善テーマ	目 標	目標達成の方法	担当者名	評 価(期末記入欄)
食品製造販売(菓子)	新商品の開発と販路の拡大	<p>(30年度) 季節感を意識した新商品開発。 自社店舗の開設。</p> <p>(31年度) 自己ブランドを意識した包装、パッケージ作成。</p> <p>(32年度) 販売ルートの確立。</p>	<p>(30年度) 技術講師を招き、季節に合った新商品の開発、助言をしていただき飽きの来ない商品をそろえる。 自社店舗を開設し地域住民に商品の特徴を理解していただき購入意欲を高める。</p> <p>(31年度) 日配品として購入していただく他、贈答用等に利用していただけるよう包装、パッケージに購入意欲がわくデザインを印刷する等、工夫することで自社ブランドの啓発を促す。</p> <p>(32年度) 事業所向けの販売ルートコースを見直し、積極的な販売展開を進める。</p>	佐々木	
食品製造販売(南部せんべい)	新商品の開発と販路の拡大	<p>(30年度) 新商品開発と、箱詰め商品の見直しを合わせて行う。 自社店舗の開設。</p> <p>(31年度) 箱詰め商品の売上向上を図る。</p> <p>(32年度) 販路の開拓を目指し営業する。</p>	<p>(30年度) 箱詰め商品にも取り入れることができる商品を最低でも2種類開発し、品揃えに加える。自社店舗に販売することにより、地域住民に対し贈答用として利用していただくよう啓発する</p> <p>(31年度) 贈答用に的を絞る、箱詰めの内容変更や包装、パッケージデザインを見直し顧客のニーズに答えることができるようにバリエーションを広げる。</p> <p>(32年度) 商品の動かない時期に納品できる新たな取引先を確保するため営業する。</p>	赤沢	
受注作業	作業効率の向上	<p>(30年度) 作業場の確保。</p> <p>(31年度) 作業場所、作業種類の定着化を図る。</p> <p>(32年度) 作業内容、作業量の調整を図る。</p>	<p>(30年度) 施設に隣接する他企業所有の作業場を賃貸契約を締結し確保する。</p> <p>(31年度) 利用者が行う作業種目を定着化することで技術向上を図り、発注元からのクレーム減少と作業効率向上に努める。</p> <p>(32年度) 作業量の状況を見極め、発注元(企業)と協議し調整する必要があるが、利用者の適応を考慮して受注する。</p>	菊池	

5 県が実施する支援策について

問1 (1)～(6)について該当する項目に○を付けてください。下記以外で希望する支援がある場合には(7)に記載してください。

	過去に支援を受けたことがある ↓	今後支援を希望する ↓
(1) 企業の経営手法の導入		
・ 専門家(経営)の派遣		
・ 役員、管理者向けの経営セミナーの開催		
(2) 技術指導の強化		
・ 専門家(技術)の派遣	○	○
・ 農業との連携事業における農業技術取得支援		
(3) 他産業等との連携の促進		
・ 農業分野との連携による施設外就労、施設内農業等の促進		
(4) 受注・販路の拡大		
・ 民間企業、行政機関等への発注の呼び掛け	/	
・ 県の官公需における発注目標の設定、優先発注等の庁内周知	/	
(5) 共同化・連携の推進		
・ 共同受発注機能の推進	/	
(6) 説明会や研修等の実施		
・ 工賃引上げの取組を活用した好事例の紹介、説明会		
・ 就労支援事業所経営支援研修会		
(7) その他(自由記載)		

問2 農福連携について質問します。

(1) 事業所の作業で農業に携わっていますか。該当するものすべてに○を付けてください。

自身の事業所で農作物の生産を行っている。	
施設外就労として農業者や漁業者の作業を受託している。	○
農作物や水産物の加工を行っている。	○
全く関わっていないが、興味はある。	
全く関わっておらず、現在のところ予定もない。	

(2) 農福連携を実施する上での課題と考えられるものすべてに○を付けてください

周年での作業が確保できない。	
農業に興味はあるが、農業者とつながりがない。	
今の人員体制では対応できない(人員不足)。	○
施設職員に農業に関するノウハウがない。	
農作業を行う場所までの移動	
施設外で利用者が農作業を行う際の安全対策	
施設外で利用者が農作業を行う際の設備(トイレ、休憩所等)	
農業者の障がいに対する理解促進	

(3) 以下の取組で興味があるものすべてに○をつけてください。

農業の専門家等のアドバイザー派遣	
農業者と事業所をつなぐマッチング支援	
施設職員を対象とした農業セミナー	
事業所が生産した農産物や加工品等を販売するマルシェへの参加	

(4) 農福連携に関して希望する支援があれば自由に記載してください。